



リクエストについて

リクエストできるのは2年生以上です。

リクエストが10人以上ある本は1週間の貸出にします。

連絡しても取りに来なかった人はすべて後回しにします。

一人でも多く、早く読めるようにするためです。

みなさん、ご協力をお願いします。

夏休みのかし出しはじめました!

かしだし日：7月1日(金)～7月30日(土)

さっすう：ひとり8さつまで

かえす日：9月9日(金)

いつもよりたくさん長くかりられます。
心にのこった本はかんそうをかいておこう!
そして、ぜひ、おともだちにも、
しょうかいしてあげてください。

かえすのをわすれている本はありませんか?

どくしょかんぞうぶん
読書感想文コンクール

おびぞうさく
本の帯創作コンクールに

おうほ
応募してみよう



お家のかたへ

夏休みは通常より多くの本を借り、お家に持ち帰ることになります。汚したり、なくしたりすることのないように、お家でも本の扱い方や保管場所などについて、ご助言くださいますように、ご協力をお願いします。

夏休みカレンダー

色がぬってあるところは、しまっています。

夏休み中(7/21～7/30)は、朝9:00～夕方4:00まであいています。おうちの人といっしょにきてください。

【7月】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

【8月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

*8月25日(木)からいつもどおりに、あいています。

☆ お子さんといっしょに図書館を利用しませんか? ☆

信愛図書館では保護者への貸出も行っております。お気軽にご利用ください。

チャレンジ

どくしょかんそうぶん 読書感想文コンクール

夏休み、たくさんの本を読んで、その感動を素直な気持ちで表現してみましょう。

応募のきまり

課題図書か自分でえらんだ好きな本(自由図書)の感想を書いてください。

* 応募区分

- ① 小学校1・2年生の部 ② 小学校3・4年生の部 ③ 小学校5・6年生の部

* 字数

- ① 1・2年生は800字以内 ② 3～6年生は1200字以内

題名と氏名は字数として数えません。原稿用紙にていねいに書きましょう。

* 作品の提出

担任の先生に 提出してください。

読書感想文Q&A

Q1. 読書感想文はなんのために書くの？

読むことによって考え、書くことによって、さらに深く読むということを通して、読解力や思考力を深めることができます。

Q2. どんな本を読めばいいの？

思いきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり…。自分にあった、心動かされる本を見つけましょう。

Q3. 何をどのようにかけばいい？

本を読んでどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。自分の生き方や経験と比べてみると、いろいろなことが見えてきます。どう書けば自分の気持ちにぴったりくるか、それがうまく人に伝わるかを考えているうちに、一番言いたいことがはっきりしてきます。



Q4. 題名はどうつけたらいいの？

本をえらぶとき、題名を見てえらんでいませんか。題名を見ただけで「読んでみたい」「やめところ」と思ってしまう。人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。

Q5. 気づいたらお話のあらすじばかり。

読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。どうしても本文を書きたいときは「」(カギ)でくくります。

Q6. 決められた字数以内なら何字でもいいの？

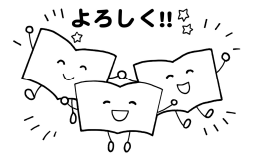
字数の決まりは、ことばで表現できるグラウンドの広さです。広いグラウンドいっぱい、思いきり読書の感動を表現してみましょう。

【全国学校図書館協議会監修監修パンフレットより抜粋】

これもやってみよう!

おびそうさく 本の帯創作コンクール

本の表紙に付ける「帯」のデザインをしようというコンクールです。課題図書部門の優秀作は実際の帯として製品化され、本屋さんにならぶ予定です。



* つくるときの注意

その1. 応募作品はオリジナルの未発表作品にかぎります。

その2. 紙の材質は自由ですが、色彩がはっきり出る材質で作しましょう。

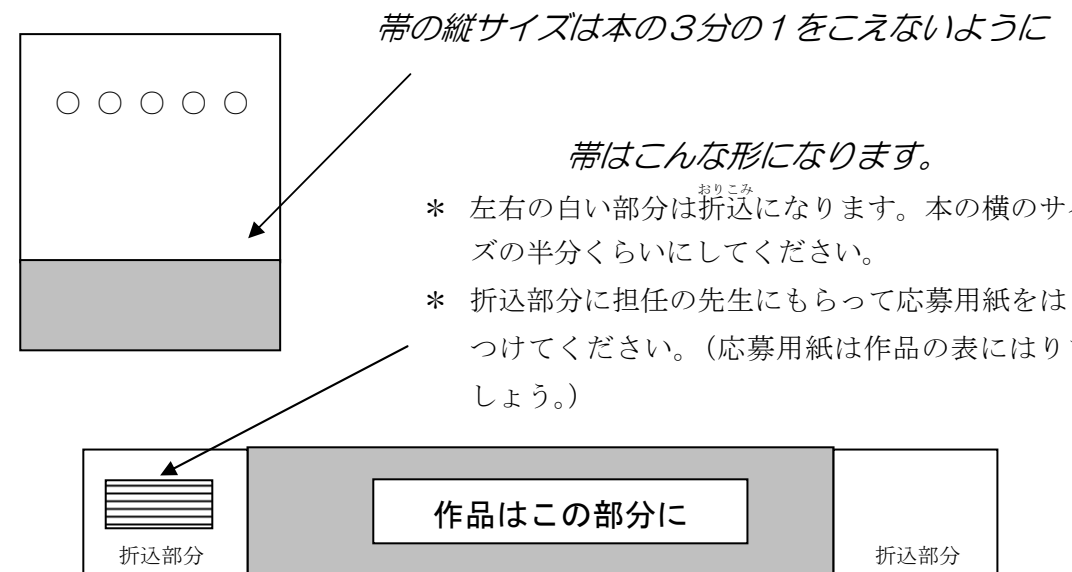
* どんなふうにつくれればいいの？

その1. 絵や文、イラスト、キャッチコピーなど表現方法はなんでもいいです。

その2. 使う道具もなんでもOKです。絵の具、クレパス、墨、色鉛筆、パソコンなど 一目で本の内容がわかり、読み手をひきつける工夫とアイデアが大切!

* 作品の提出

課題図書部門 } どちらも始業式に担任の先生に提出してください。
自由図書部門 }



どちらもわからないことがあったら、担任の先生にきいてください!